



さん が

第一〇二号

令和 元年

西暦 二〇一九年

孟蘭盆 七月号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

令和となって、ひと月あまりがたちました。みなさま
いかがお過ごしでしょうか。

とはいえ、元号が変わっても、もちろん暮らす毎日の
中身が変わるわけではありません。おなじような、日常
が続いていくわけです。

みなさまは、変わらぬ平凡な毎日は価値に乏しく、楽
しくない思いに駆られることもあるでしょうか。

ところが、そんな日常が壊れてしまうと、じつは、そ
れこそがかけがえのない大切な時間なのだ、初めてお
気づきになるかも知れません。

しかしながら、そんな時が急に来ても、私たちは戸惑
うばかりです。どのような心持ちで、どのような行動を
していくのか。強い気持ちが欲しくなります。

その力の源となるのは、やはり、それまで暮らしてき
た、「平凡な時間」なのだと思います。



その、平凡でありながらも、じつは、かけがえのない
大切な時間の積み重ねが、いざ、人生のピンチが廻って
きたときに、乗りこえていく力となるのです。

もしも、その積み重ねに自信がなくても大丈夫です。
仏教では、現実のあり方を、まず「苦（思い通りにな
らぬこと）」とみて、そこからどうしようと考え、生きて
いこうとします。まだ遅くありません。今から、積んで
いけば良いのです

みなさまにピンチが来たときも、落ち着く力が満たさ
れていきますように。涙が出ても、
いつか必ず、自身を暖める潤い
なることを信じて。善いお時間を
お過ごしいただけますように、
お祈りしております。



屋根の修復中です

昨年九月の台風二一号で被害を受けた、屋根瓦修復工事が始まっています。本堂屋根は終わりましたが、すべての修復には、もう少しかかりそうです。

被害はお墓入り口付近に集中していて、足場のため、通路が狭くなっています。お墓参りのみなさまには、お不便をおかけし誠に申し訳ありません。どうかご理解くださいますよう、お願い申し上げます。お氣をつけて、お通りくださいますように。



お墓入り口に足場が組まれています。
お手洗い上の屋根は、根太も痛んでおり、いちど瓦をすべて下ろして、根太を新しくやりかえる工事もしました。
薬師堂の壁も大きな被害がありました。そちらは、またあらためて工事に入る予定です。



お盆のお参りについて

淀以外にお住まいの方には、このお便りに「棚経のご案内」を同封しております。どうかご確認ください。
淀にお住まいの方には、あらためてのご案内は入れておりません。例年通りの日時でお伺いいたします。ご不明の場合は、遠慮なくお問い合わせください。

秋の団参 今年も四国の禅寺へ！

毎秋恒例の参拝旅行です。今年も四国です。高知に泊まり、四国随一の禅道場である、新居浜市の瑞應寺さまにご参拝します。今年から道中のバスはトイレ付きです。どうぞふるってご参加ください。

日時 十一月六日（水）～七日（木）
宿泊 高知市「土佐御苑」
参加費 三〇、〇〇〇円

住職がこの団参の係をしております！
たくさんのご参加を、心よりお待ちしております！
申し上げます！



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→